

MEITEC IR REPORT 2011

IRレポート [第38期 第2四半期累計期間]

2010年4月1日～2010年9月30日

株主の皆様へ



代表取締役社長

西本 甲介

2011年3月期第2四半期累計連結業績は、増収・増益となり、当期の経営目標である「通期営業黒字の達成」に向けて、一步前進することができました。

当社を取り巻く市場環境は、当社の主要顧客である製造業各社のコスト削減が継続していることから、依然として厳しい状況が継続しています。一方で、前期後半から、次代の成長戦略のための技術開発投資の取り組みが、徐々にではありますが顕在化してきたことを主要因として、当社グループの主力事業である技術者派遣事業に対して、緩やかな受注回復が継続しています。同時に、当期においては、既存顧客を中心対象として積極的な営業活動を展開し、技術研修を継続している未稼働の技術社員の提案営業を徹底しました。その結果、メイテック単体では、4月度から9月度まで、6ヶ月連続で稼働人員数を増加させることができ、前期3月度に78.6%であった稼働率を、当期9月度には86.3%まで改善することができました。同様に、子会社のメイテックフィルダーズでは、当期9月度には94.7%まで改善することができました。

こうした業績の回復基調により、第2四半期累計連結業績においては、前年同期対比で、売上は12.0%増の293億57百万円、営業利益は前年同期の32億48百万円の赤字から黒字に転換し、6億62百万円を達成することができました。

第3四半期以降につきましては、世界経済や市況環境の変化は予断を許さないこと、あるいは派遣法規制強化が想定されることなど、外的要因については不透明な状況が持続していますが、引き続き2011年3月期は、連結営業黒字を必ず達成するという経営目標に対して、グループ一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒、一層のご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2010年11月

決算のポイント

連結の経営成績

当四半期連結累計期間（6ヶ月間：2010年4月1日～2010年9月30日）においては、当社の主要顧客である大手製造業の業績回復が堅調に進んでおり、技術開発投資の再開が緩やかではありますが拡大しています。かかる状況下、当社グループの中核事業である技術者派遣事業においては、既存顧客を中心に積極的な営業展開を行い、稼働率の改善が継続しました。これらを主因に、当四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比31億53百万円増収の293億57百万円となりました。連結売上原価は、稼働率の改善による労務費の増加等を主因に前年同期比1億49百万円増加の236億28百万円、販管費は効率化の徹底等により前年同期比9億7百万円減少の50億65百万円となりました。

この結果、連結営業利益は、前年同期比39億11百万円増益の6億62百万円となり、前年同期の赤字を脱却して黒字に転換しました。2010年5月13日公表の2010年3月期決算短信でお知らせした通り、公表予想を上回る営業利益は社員還元を優先する計画に鑑み、連結で24億53百万円の社員還元見込上限額を設定し、社員還元見込額を当四半期連結累計期間の上限額である12億25百万円まで計上しました。当社単体においても社員還元見込額を当四半期連結累計期間の上限額である10億73百万円まで計上し、営業利益は2億39百万円となりました。

前年度に引き続き、雇用調整助成金収入（14億1百万円）を営業外収益に計上し、連結経常利益は前年同期比29億38百万円増益の20億87百万円、連結四半期純利益は前年同期比28億30百万円増益の16億15百万円となりました。

事業セグメント別の経営成績

〔派遣事業〕

連結売上高の9割超を占める派遣事業、特に中核事業の技術者派遣事業については、受注環境が緩やかに好転する中で、既存顧客を中心に積極的な営業展開を行い、契約終了数を上回る契約開始数の獲得をした結果、稼働率の改善が継続しました。

これら稼働率の改善を主因として、派遣事業における当四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比31億75百万円増収の277億85百万円となりました。

また、売上高の増加に伴い、営業利益は前年同期比34億27百万円増益の5億25百万円となり、前年同期の赤字を脱却して黒字に転換しました。

〔エンジニアリングソリューション事業〕

エンジニアリングソリューション事業は、解析関連技術、試作・金型製作・成型関連の技術サービス及びプリント基板事業等の技術支援事業を行っています。

エンジニアリングソリューション事業における当四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比3億25百万円増収の15億44百万円、営業利益は前年同期比1億円増益の1億13百万円となりました。

株式会社メイテックCAEは、前年同期比で増収となり営業利益も堅調に推移しております。また、アポロ技研グループは、市況の回復に加えて営業強化の効果等もあり、前年同期比で増収、前年同期の赤字を脱却し黒字化しています。

〔グローバル事業〕

グローバル事業は、中国で教育事業及び人材紹介事業を行っています。

グローバル事業における当四半期連結累計期間の売上高は、株式会社メイテックグローバルソリューションズが当セグメントからエンジニアリングソリューション事業へ移動した事を主因に、前年同期比3億円減収の43百万円となりました。ただし、メイテック大連、広州、北京の清算手続等の事業拠点縮小による効率化、並びにメイテック上海人材への営業力の集中も進めており、営業損失は前年同期比3億52百万円改善の30百万円へ大幅に縮小しました。

〔キャリアサポート事業〕

キャリアサポート事業は、エンジニアに特化した職業紹介事業及び情報ポータルサイト事業を行っています。

キャリアサポート事業における当四半期連結累計期間の売上高は、昨年5月の再就職支援事業の売却を主因に、前年同期比1億31百万円減収の2億19百万円となりましたが、営業利益は52百万円の黒字を計上しました。

株式会社メイテックネクストは、営業拠点を縮小しつつも、売上高は前年同期比で増収、さらにはコスト削減策が功を奏し、営業利益は黒字に転換しました。

四半期連結財務諸表(要旨)

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

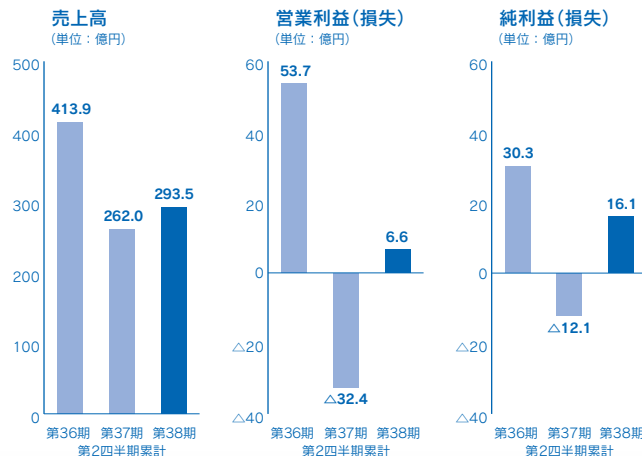
科目	当第2四半期 連結会計期末 (2010年9月30日)	前連結会計年度末 に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
資産の部		
流動資産	32,210	28,444
現金及び預金	19,548	14,732
受取手形及び売掛金	9,389	9,582
その他	3,277	4,133
貸倒引当金	△4	△3
固定資産	18,600	19,180
有形固定資産	11,986	12,069
無形固定資産	2,331	2,704
投資その他の資産	4,282	4,407
資産合計	50,811	47,625
負債の部		
流動負債	7,488	6,392
支払手形及び買掛金	150	123
未払費用	1,797	4,864
未払法人税等	695	146
その他	4,845	1,257
固定負債	8,271	7,789
退職給付引当金	8,093	7,739
その他	178	49
負債合計	15,760	14,181
純資産の部		
株主資本	35,716	34,101
資本金	16,825	16,825
資本剰余金	14,451	14,451
利益剰余金	10,331	8,715
自己株式	△5,891	△5,891
評価・換算差額等	△892	△865
少数株主持分	225	207
純資産合計	35,050	33,443
負債純資産合計	50,811	47,625

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 自2010年4月1日 至2010年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 自2009年4月1日 至2009年9月30日
売上高	29,357	26,203
売上原価	23,628	23,478
売上総利益	5,728	2,724
販売費及び一般管理費	5,065	5,973
営業利益(△損失)	662	△3,248
営業外収益	1,467	2,456
うち助成金収入	1,401	2,407
営業外費用	42	58
経常利益(△損失)	2,087	△850
特別利益	297	26
特別損失	83	26
税金等調整前四半期純利益(△損失)	2,302	△850
法人税等	666	383
少数株主利益(△損失)	19	△19
四半期純利益(△損失)	1,615	△1,214

過去3期の第2四半期累計期間経営成績の推移



通期業績予想及び配当予想

通期業績予想

中核事業の技術者派遣事業における足元の稼働率動向等を勘案し、2011年3月期の通期業績予想を下記の通り修正いたします。

下記の業績予想には、社員還元見込額として連結で24億53百万円、当社単体で21億49百万円を織込んでいます。なお、織込んだ社員還元見込額は年間の上限額です。

また、多数のエンジニアを常用雇用する当社グループでは雇用調整助成金の受給を申請しておりますが、稼働率の改善状況を踏まえ、助成金収入見込額を連結で32億円から24億円に見直し、下記の業績予想に織込んでいます。

連結業績予想 (2010年4月1日～2011年3月31日)

売上高	59,500百万円
営業利益	1,600百万円
経常利益	4,100百万円
当期純利益	2,900百万円
1株当たり当期純利益	87.48円

配当予想

上記通期業績予想に記載の通り、社員還元を考慮した後においても年間の連結営業利益は16億円を予想していることから、期末配当については営業利益に即して検討して参ります。

しかしながら、社員還元後の営業利益については未確定であることから、現段階での期末配当予想は「0円」から「未定」へ修正いたします。

なお、具体的な期末配当予想については通期業績見通しの確度に基づいて、2011年3月下旬までにお知らせします。

配当の実績並びに予想

(基準日)	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
前回 発表予想		0円00銭		0円00銭	0円00銭
今回 発表予想		実績 0円00銭		予想 未定	未定

会社概要 (2010年9月30日現在)

会社名	株式会社メイテック
設立年月	1974年7月
本社所在地	東京本社 〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目5番26号 赤坂DSビル TEL 03-5413-2600 名古屋本社(登記上の本店) 〒451-0075 愛知県名古屋市区西康生通2丁目20番地1
資本金	168億25百万円
従業員数	7,950名(連結)
格付け	格付投資情報センター (R&I) A-

株式情報 (2010年9月30日現在)

証券コード	9744
上場市場	東京証券取引所 市場第一部
1単元の株式数	100株
会社が発行する株式の総数	142,854,400株
発行済株式数	35,100,000株
株主数	6,950名
事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所 電子公告により行う 公告掲載 URL http://www.meitec.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

IRホームページ

<http://www.meitec.co.jp/ir>

IRレポートにつきましては、環境保全などに鑑み、簡素に要旨をまとめた冊子といたしました。IRホームページにて投資家の皆様へ充実した情報開示を行っておりますので、併せてご覧ください。